

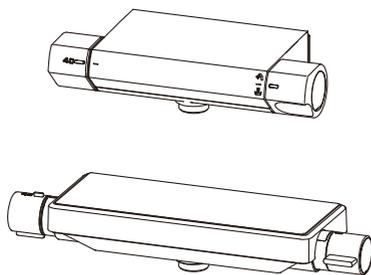
サーモスタット付シャワーバス水栓

BF-HT147型
BF-HW147型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番ラベルの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前に	7
■ ご使用方法	10
■ 凍結の恐れがある場合	12
■ 日常のお手入れ	14
■ 定期的なお手入れ	15
■ 定期的な部品交換のお願い	18
■ 修理を依頼される前に	19
■ アフターサービスについて	22

保証書 裏表紙

はじめに

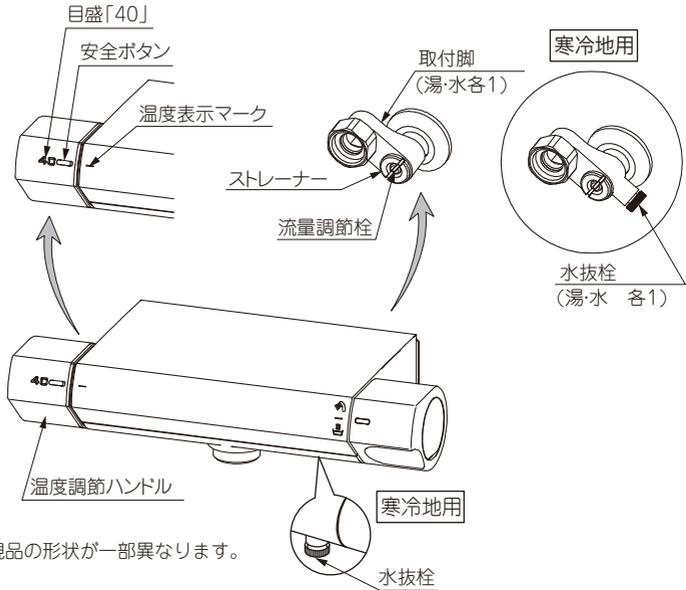
つかいかた

お手入れ

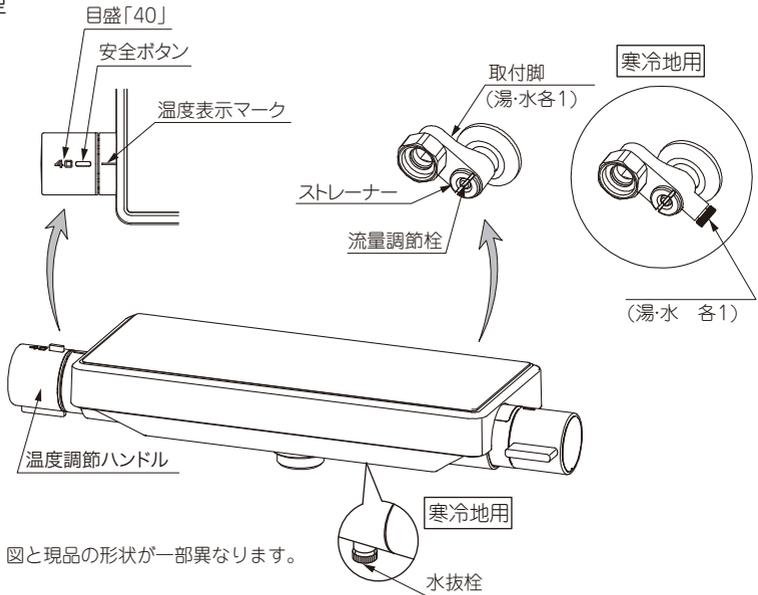
こんなときは

各部の名称

BF-HT147型



BF-HW147型



安全上のご注意

- ご使用の前に この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び 付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



(禁止)

…… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません!」



(禁止)

…… 「指示した場所には触れてはいけません!」



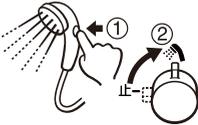
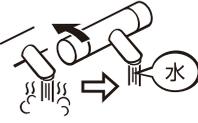
(指示)

…… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

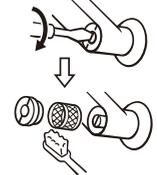
⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(禁止)</small>	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。 ※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>シャワーには45℃以上の湯を通さないでください。 ※高温のシャワーヘッドに触り、ヤケドをする恐れがあります。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(分解禁止)</small>	<p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>水栓の左側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>高温の湯をお使いのときは、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。 ※水栓が破損し、家財を濡らす恐れがあります。また、誤作動によるヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	<p>給水圧力 > 給湯圧力</p> 
 <small>(指示)</small>	<p>シャワーをお使いになる前に必ず適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(禁止)</small>	<p>スイッチシャワー付の場合、スイッチシャワーの吐水スイッチを誤って押さないでください。 ※いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>スイッチシャワー付の場合、スイッチシャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※吐水スイッチが押され、いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>スイッチシャワー付の場合、使い始めの際に、吐水スイッチを押してからハンドシャワー・吐水口切替ハンドルをシャワー側に回してください。 ※一時止水スイッチを押した状態でシャワー側になると、一瞬シャワーが出るためヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>温度調節ハンドルの温度表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。 ※ご使用時は低温から少しずつ調節して、適温になるようにしてください。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>お使いになる前に、シャワー側か吐水口側かを確認してから切替ハンドルを回してください。 ※間違えるとヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>温度調節ハンドルはゆっくり回してください。 ※急に回すと温度が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻し、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次に使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

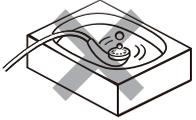
⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(指示)</small>	<p>定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>ストレーナーの掃除をする際は、ストレーナーを緩める前に、必ず流量調節栓を閉めてから行ってください。 ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 水抜栓は水抜以外の目的で開けないでください。 ※水抜栓をいきなり開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

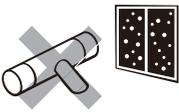
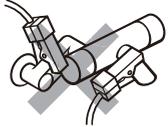
⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>製品に強い力や衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損や漏水の原因となります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>切替ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起すことがありますので、お止めください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>メッキのハガレはそのまま放置しないでください。 ※メッキ面のハガレやキズで、ケガをする恐れがあります。</p>	

⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>シャワーヘッドを落としたり、ぶついたりしないでください。</p> <p>※メッキ表面にキズがつき、ケガをする恐れがあります。シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL修理受付センターに修理、交換を依頼してください（P.22参照）。</p> <p>※身体の上に落ちケガをする恐れがあります。</p> <p>※破損や漏水の原因となります。</p> <p>※タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>シャワーヘッドを浴槽、洗面器等に浸さないでください。</p> <p>※一度吐水された湯水等が一次側配管に逆流する可能性があります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、そちらもご覧のうえ注意書きを守ってご使用ください。</p>	

⚠ 注意：凍結防止のために

 <small>(禁止)</small>	<p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。（寒冷地用の場合は配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。）</p> <p>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。</p> <p>※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>【寒冷地用の場合】 配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。（P.13参照）</p> <p>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

ご使用前に

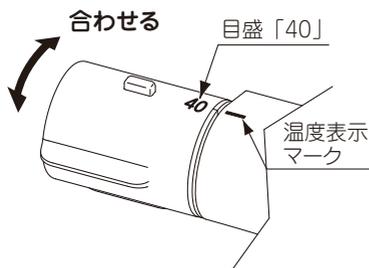
ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下の設定をおすすめします。ただしヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。
- 給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズレて、表示通りの温度の湯が出なくなる場合がありますので注意してください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
※市販の節水シャワーと組み合わせる場合は、あらかじめ給湯器の作動流量をご確認の上ご使用ください。

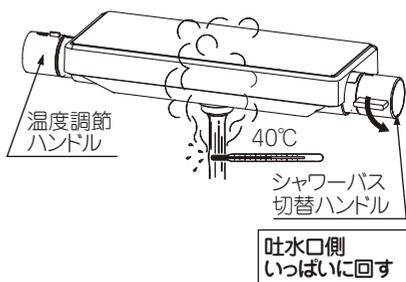
吐水温度の調節

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの目盛「40」を温度表示マークに合わせます。



2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側いっぱいにして確認します。



適温（約40℃）である



そのままお使いいただけます。

適温（約40℃）からズレている

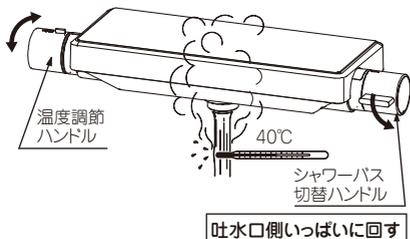


P.8の「温度調節ハンドルの設定」を参照し設定し直してください。

温度調節ハンドルの設定

吐出温度と温度調節ハンドルの表示がズレている場合は、以下の手順で設定し直してください。

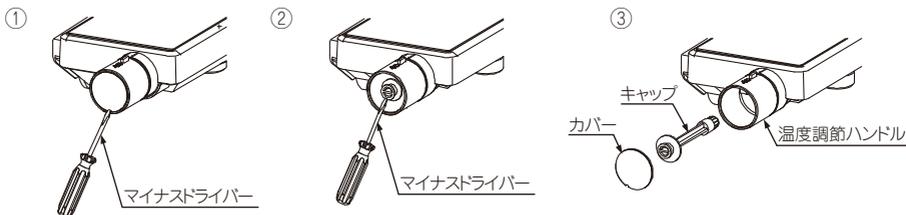
1. 吐出温度を適温(約40℃)に合わせます。シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側いっぱいまで回して全開にし、目盛「40℃」に関係なく吐出温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回して調節します。



ポイント

温度調節ハンドルを湯側に回すと目盛「40」付近で一度止まる。これより高温側に回したいときは安全ボタンを押しながら回すこと。

2. 吐出温度が適温(約40℃)になったところで止水し、温度調節ハンドルが回らないように注意して、カバー、キャップ、温度調節ハンドルを抜きます。



注意

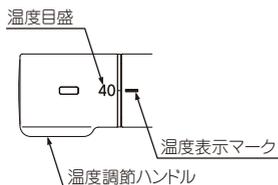
カバー・キャップを取り外す時は、慎重に取り外してください。

※無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因となります。

ポイント

キャップを外すと温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れる。

3. 抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップ、カバーをはめ込みます。



注意

固定後に約40℃の湯が出ることを確認してください。

※ヤケドをする恐れがあります。

ポイント

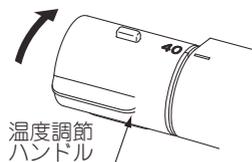
キャップがしっかり奥まで挿入されていること。

流量の調節

水圧が0.20MPa {2kgf/cm²} を越える場合は水側・湯側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

1. 温度調節ハンドルを水側(上) いっぱいに戻します。

上いっぱいに戻す



2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に回し、全開で吐出します。



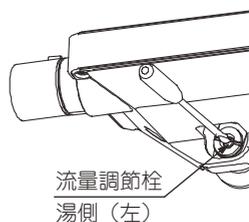
3. 水側(右)の流量調節栓を調節します。



4. シャワー・バス温度調節ハンドルの目盛「40」をマークに合わせます。

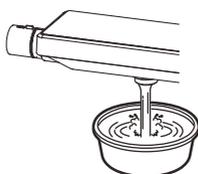


5. 水側と同様に湯側(左)の流量調節栓を調節します。



調節の目安

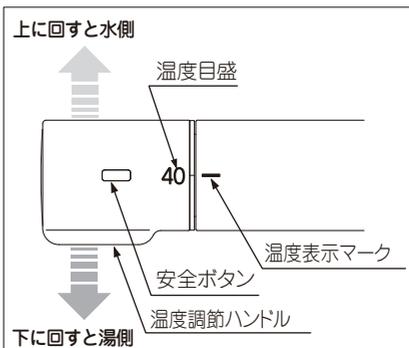
市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに約10秒弱(=20L/分程度)



ご使用方法

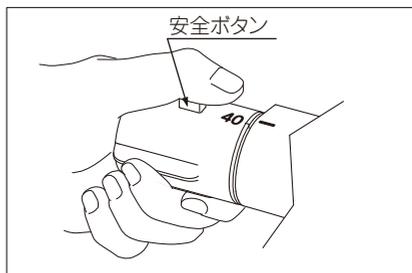
温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示は吐出温度を示しています。目盛「40」を目安として温度表示を本体側の温度表示マークに合わせてください。



温度調節ハンドルを高温側(下)に回すと、安全ボタンの働きで目盛「40」付近で一度止まります。お湯の温度を更に上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

※シャワー温度と吐水温度に温度差がある場合があります。



ポイント

◆より快適にご使用していただくために◆

給水温度は「夏は温かく」「冬は冷たく」というように季節によって一定ではありません。このため給水温度の変化に連れて、吐水温度がハンドルの温度表示とズれることがあります。

この場合、給湯器の設定温度を「夏は低く」「冬は高く」調節していただくことでズレが少なくなり、いつでも快適にご使用いただけます。



シャワーと吐水口の切替

シャワー・バス切替ハンドルの（)マークが本体側の表示マークの中央になっているときが**止水位置**です。

シャワーを使用するときは切替ハンドルを上に戻します。上いっぱいまで回すと流量が最大になります。

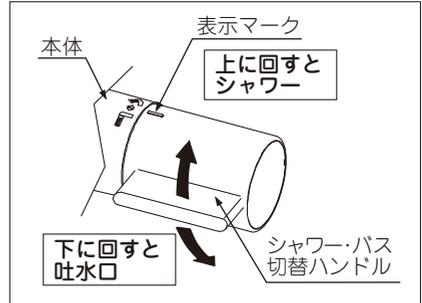
吐水口を使用するときは切替ハンドルを下に戻します。下いっぱいまで回すと流量が最大になります。

【スイッチシャワーの場合】

シャワーヘッドの吐出スイッチが押されていることを確認した後、シャワー・バス切替ハンドルを操作してください。

※一時止水スイッチを押した状態で切替ハンドルを操作すると、ハンドルが重くなり、故障の原因になります。

シャワーバス水栓・シャワー水栓

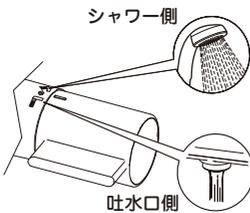


ポイント

シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、シャワーヘッドの使用方法はそちらを御確認ください。

ポイント

どちらから出るか確認



浴びる前に手で確かめる



湯温を確かめてから出す



ハンドルはゆっくり回す



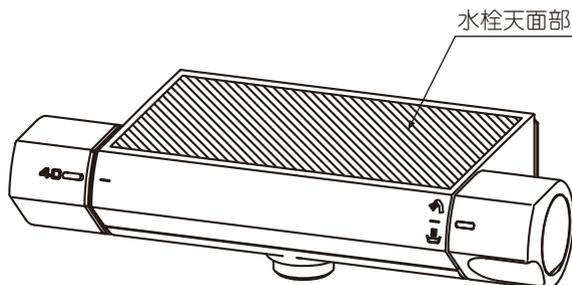
急に回して「ドン」という音がしたときは、配管に負荷がかかり破損・漏水の原因となります。

ヤケドや水漏れ防止のために守ってください。

水栓使用時の注意

※BF-HT147型の場合

水栓にもものをぶつかけたり、天面部にもものを乗せて使用しないでください。表面にキズがついたり、割れてケガをする恐れがあります。



凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

一般地用の場合

凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管部などに保温材を巻く。

寒冷地用の場合

シャワーヘッドがスイッチシャワーの場合は[STEP1]→[STEP2]の順に、
その他のシャワーヘッドの場合は[STEP2]から操作してください。

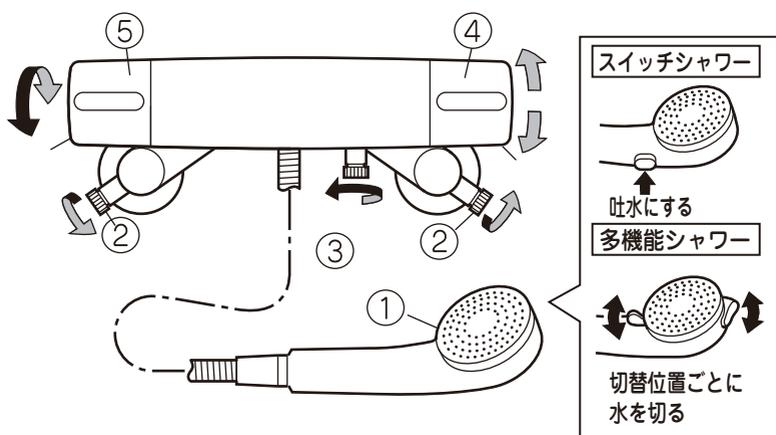
STEP1

1. スイッチシャワーヘッドの吐水スイッチを押して、シャワー・バス切替ハンドル④をシャワー側(上)に回し、シャワーヘッド①から水を出す。
2. シャワー・バス切替ハンドル①を止水位置に戻す。

STEP2

1. 配管の水抜操作をする。
2. シャワーヘッド①を上段のシャワーフックにかける。
3. 取付脚の水抜栓②(2ヶ)を開ける。
4. 本体の水抜栓③を開ける。
5. シャワー・バス切替ハンドル④を吐水口側(下)に回す。
6. 温度調節ハンドル⑤を数回、水側⇄湯側に回す。
7. シャワー・バス切替ハンドル④をシャワー側(上)に回す。
8. 温度調節ハンドル⑤を数回、水側⇄湯側に回す。
9. シャワーヘッド①を振って水をよく切り床に置く。
(多機能シャワーの場合は、シャワーヘッドの切替を操作して各モードに切替え、各モードごとにシャワーヘッド①を振って、水を良く切り床に置く。)

※再通水時には全ての水抜栓を閉めてください。



※水栓やシャワーヘッドの形状は、品番によって異なります。

日常のお手入れ

布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ふきし、最後にからふきしてください。

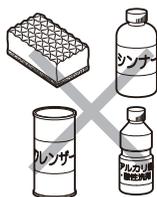
注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



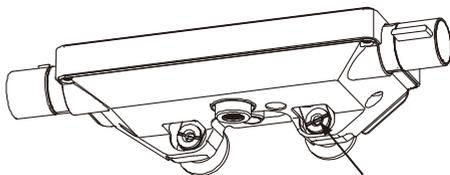
- メラミンフォーム(スポンジ)をご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。また、水栓の印字部分は、表示が消える恐れがあるので、使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが製品に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
※薬品等が付着したまま放置すると製品表面の変色の原因となります。

定期的なお手入れ

ストレーナーの掃除

吐出量が少なくなった場合はストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。

ときどき次の要領で掃除してください。



流量調節栓
ストレーナーはここに
入っています。

注意

ストレーナーの掃除をする際は、ストレーナーを緩める前に、必ず流量調節栓を閉めてから行ってください。

※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



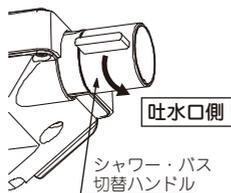
1. 湯側(左)と水側(右)の流量調節栓を閉じる。



ポイント

- 右側いっぱいまで回すこと。
- 湯側と水側の両2ヶ所行うこと。

2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に回す。



3. マイナスドライバーでストレーナーを取り外す。



4. ストレーナーに付いたゴミや汚れを取り除く。



ポイント

ブラシ等を使って水洗いする。

5. 元通りに取り付け、流量調節栓を開ける。



ポイント

湯側と水側の両2ヶ所行うこと。

シャワーのストレーナーの掃除

シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、そちらをご覧ください。シャワーのストレーナーの掃除をしてください。

散水板の掃除

散水板部の汚れや目詰まりは流量や水切れ性の低下を招く原因になります。いつまでも快適にお使いいただくために、ときどき以下の要領でお手入れをしてください。

シャワーの穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ります。



安全ピンなどで刺す

注意

- 安全ピンは無理に奥まで挿入しないでください。
※中の部分が破損する恐れがあります。
- 強い力で刺さないでください。
※散水穴が変形する恐れがあります。
※中の部品が破損する恐れがあります。
- メッキ表面を刺さないでください。
※メッキ表面にキズがつく恐れがあります。

ポイント

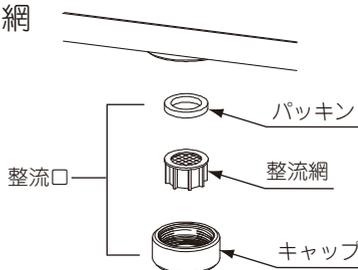
- 散水板の取り外しが可能なタイプは、散水板を取り外した上で目詰まりを取ることをおすすめします。
- シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、そちらをご覧ください。散水板の掃除してください。

整流口の掃除

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網を水で掃除してください。

注意

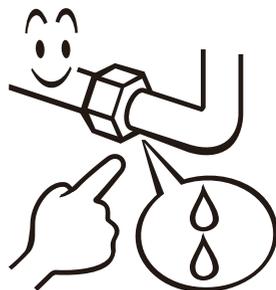
キャップをキズつけないようにしてください。
※部品が破損する恐れがあります。



配管まわりの水漏れ点検（年2回以上）

- 水回りの水漏れがないか点検してください。
- ※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ確認（年2回以上）

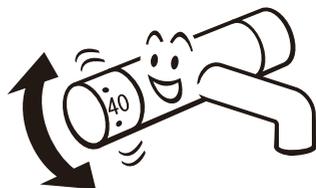
- 本体部のガタツキがないかを確認してください。
- ※配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



温度調節ハンドルの操作性確認（月1回）

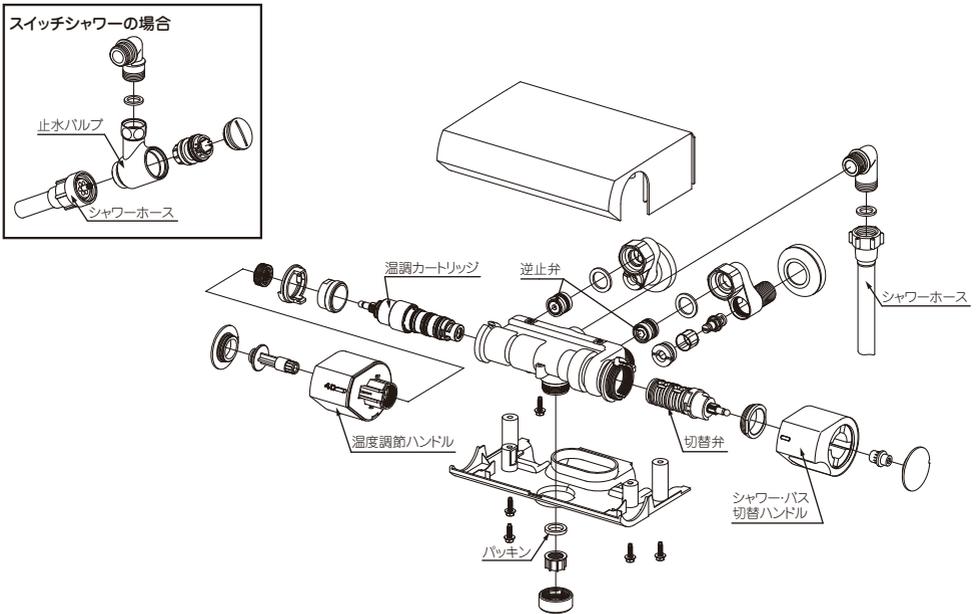
- 温度調節ハンドルをときどき回してください。
- ※温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。



定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例(水栓の種類によって異なります)
例) 逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーフック、シャワーホース、バルブ部(切替弁など)、温調カートリッジ、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。



〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換(逆止弁は3年~5年)

買換え
ご検討

修理を依頼される前に

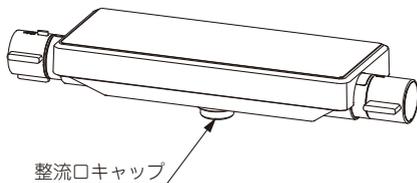
簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

希望する吐水温度が得られない

- …➔ **給湯器は正常に動作していますか？**
十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下の設定をおすすめします。ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。
- …➔ **流量調節部は調節されていますか？**
P.9を参照して、湯側と水側の流量調節栓を調節してください。
- …➔ **ストレーナーや散水板にゴミが詰まっていますか？**
P.15・16を参照して、ストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- …➔ **他所で同時に水栓を使用していませんか？**
使用時には、他所の水栓を同時に使用しないようにしてください。
- …➔ **温度調節ハンドルの設定がズれていませんか？**
P.7の「吐水温度の調節」を参照して、吐水温度が表示通りになっているか確認してください。
ズれている場合は、P.8の「温度調節ハンドルの設定」を参照して、設定をし直してください。

整流口キャップより水が漏れる

- …➔ **整流口キャップがゆるんでいませんか？**
整流口キャップをしっかりと締めてください。



整流口キャップ

異音がする

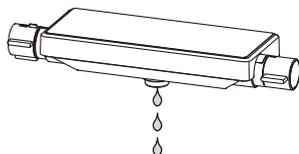
- …> **切替ハンドルを急閉止していませんか？**
ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると発生します。流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉めてください。
- …> **流量調節栓を適切に絞っていますか？**
水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。P.21を参照して、流量を絞ることで流水音を低減することができます。

流量が少ない

- …> **流量調節栓は十分に開いていますか？**
P.21を参照して、湯側と水側の流量調節栓が十分開いていることを確認してください。
- …> **ストレーナーにゴミが詰まっていますか？**
P.15・16を参照して、ストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- …> **整流口、シャワーヘッドの散水穴にゴミが詰まっていますか？**
P.16を参照して、整流口の掃除を行ってください。
シャワーヘッドの散水穴を安全ピン等で刺して掃除してください。
- …> **給湯器の設定温度は正しいですか？**
十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下の設定をおすすめします。ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。

止水したのに水が止まらない

- …> **水を止めたあと少しの間シャワーから水が出ます。**
シャワーヘッド内部の残留水が排出されるため、**故障ではありません。**
ご使用後は、シャワーヘッドの水をよく切ってからシャワーフックに戻します。
数分間止まらない場合は、切替ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- …> **シャワー使用時に吐水口から水がポタポタ漏れることがあります。**
水栓内部の残留水が熱で膨張し排出されるため、**故障ではありません。**



ミスト吐水に切り替えると冷たく感じる

【多機能シャワーの場合】

…➤ ミスト吐水では、からだから離してお使いの場合など、肌寒く感じる
ことがあります。

ミスト吐水は霧状で細かいので、冬の寒い時期などは周りの空気に比較的早く熱を奪われてしまうため、故障ではありません。

ポイント

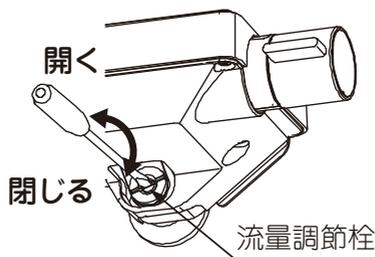
◆より快適にご使用していただくために◆

ミスト吐水をご使用の際は、温度調節ハンドルで吐水温度を適温に調節してからお使いいただくことをおすすめいたします。

※適温に調節してご使用後にスプレー吐水、マッサージ吐水に戻す場合は吐水温度が高くなりますので、必ず手で適温であることを確かめてから使用してください。



流量調節栓の調節



水側・湯側 各1

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

※LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

 0120-179-411

アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.19)を参照して確認してください。

△注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。



保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書がついています。取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたしますが、取扱店の記入がない場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

修理に際しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

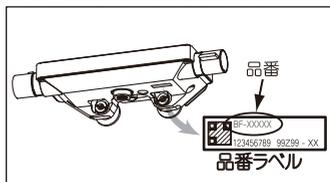
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

《ご連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(商品に表示、右図参照)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読み取ってご連絡ください。

部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造切り後最低10年間保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで(ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support>)

TEL ☎0120-179-411 受付時間9:00~20:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400

FAX ☎0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

右記番号をご利用ください。TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報(商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます)の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効となります。

品名:サーモスタット付シャワーバス水栓		(品番:)	
保証期間		取付日	取付日
取付日より2ヶ年		年	月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名	TEL () -
	おところ		
	おでんわ () -		
<p>お客さまへ 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。</p>			

無料修理規定(保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極めて高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破壊や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(バッテリー、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日 祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00(365日受付)

*フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>